

～2023 男子器械種目寸度表～

□選手権1部(中学2年～高校3年) □選手権2部(中学1年～高校3年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
あん馬	1m15cm～1m16cm	10cm
つり輪	2m90cm	20cm
跳馬	1m35cm	20cm
平行棒	2m00cm	20cm
鉄棒	2m80cm	20cm

□Aクラス(小学5年～中学3年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
あん馬	1m15cm～1m16cm	10cm～12cm
つり輪	2m65cm	18cm又は20cm
跳馬	1m25cm	18cm又は20cm
平行棒	1m87cm 1m95cm	12cm 20cm
鉄棒	2m75cm	18cm又は20cm

□Bクラス(小学1年～小学6年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
あん馬	1m15cm～1m16cm <small>※身長の高い選手に対し、飛びつき台を別途用意する。(50cmまで)</small>	10cm～12cm
つり輪	2m65cm	18cm又は20cm
跳馬	1m20cm	18cm又は20cm
平行棒	1m75cm 1m87cm	12cm 20cm
<small>※一般認定器具で高さ187cm(±2cm)、両棒間の幅調節ができるものがあれば良い。(設置の際は業者に確認)</small>		
鉄棒	2m65cm	18cm又は20cm

【男子Bクラス(2016年～)】

※跳馬 高さ 1m10cm⇒1m20cmに変更
 平行棒 高さ 1m65cm⇒1m75cmに変更
 1m75cm⇒1m87cm(±2cm)に変更

【着地マットの使用について】

※つり輪、跳馬、鉄棒の着地マットの使用は可能

【跳馬助走路の長さについて】

※全クラス:跳馬の助走路ゴム部分を短くセット

～2023 女子器械種目寸度表～

□選手権1部(小学6年～高校3年) □選手権2部(中学3年～高校3年)

□Aクラス(小学5年～中学3年) □Bクラス(小学3年～中学3年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
跳馬	1m25cm	20cm
段違い	低棒 1m75cm 高棒 2m55cm バー間隔 最大 1m81cm	20cm
平均台	1m25cm	20cm

(1)ゆかを除く3種目では最大10cm程度の着地マットを使用しなければならない。(本会場3枚、練習会場3枚)

□Cクラス(小学1年～小学6年)※Cクラスは跳馬を使用しない。

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
Cクラス跳馬	メジャーは着地マットの一番先端を「0cm」とする	
段違い	低棒 1m75cm 高棒 2m55cm バー間隔 最大 1m81cm	20cm
平均台	1m25cm	20cm

【跳馬助走路の長さについて】

※全クラス:跳馬の助走路ゴム部分を短くセット